

単元名 7 価値を生み出す ―漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 部首や音訓，構成などに気を付けて，新しく習う漢字を読んだり，意味を調べたりすることができる。  
(3) 学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

### 標準的な展開例

12210218\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「漢字のまとめ」(p.174～p.175)に取り組み，これまでの漢字の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ これまでの漢字の総復習をしよう。</li> <li>○ 2年生までに学習した漢字を復習する。</li> </ul> <p>○ 3年生で学習した漢字を復習する。</p> <p>○ 「漢字に親しもう5」の問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字の部首，音訓，成り立ちや構成，送り仮名などを確認しながら問題に取り組ませる。</li> <li>・ 同訓異字や同音異義の漢字を調べ，書き分けられるようにさせる。</li> <li>・ 熟語の読み方，造語力などに気を付けながら問題に取り組ませる。</li> <li>・ 漢字辞典や国語辞典などを使って調べさせる</li> <li>・ 慣用句・ことわざ・故事成語などの意味を調べさせる。</li> </ul> <p>【評】漢字を復習する活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】漢字の問題に取り組む活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

### 【 備 考 】

中学校3年生の時期には，社会に目が向く一方で，自分という存在について深く考え，苦しむことも多い。そこで，自分の中にだけ目を向けるのではなく，他の人たちとの関わりの中で自分という存在について考えることの大切さを説く論説文を通じて，社会的な関わりが希薄だといわれる中学生に，人との関わりの中で，新しい価値を創造することの重要性などに気付かせたい。

また，課題に沿ってグラフを分析し，論理の展開に注意して小論文を書くことで，情報を客観的に読み取り，論理的に考えて表現する力を伸ばしたい。

「常用漢字表について」(p.286～p.287)

「常用漢字表」(p.302～p.316)